第９章　預金取扱等金融機関の検査・監督をめぐる動き

第１節　預金取扱等金融機関の概況

Ⅰ　再編等の状況

１．銀行業の免許

2023 年７月以降、新たに銀行業の免許を付与した銀行はない。

２．主要行等の再編等

2023 年７月以降に行われた主要行等における再編等は、以下のとおりである。

株式会社りそな銀行

（内容）2024 年４月１日に株式会社りそなホールディングスと株式会社関西みらいフィナンシャルグループが合併

合併後の名称：株式会社りそなホールディングス

https://www.fsa.go.jp/news/r5/ginkou/20240308/20240308.html

３．地域銀行の再編等

2023 年７月以降に行われた地域銀行における再編等は、以下のとおりである。

株式会社福岡中央銀行

（内容）2023 年 10 月１日に株式会社ふくおかフィナンシャルグループによる株式会社福岡中央銀行の子会社化

https://www.fsa.go.jp/news/r5/ginkou/20230927/20230927.html

株式会社京都銀行

（内容）2023 年 10 月２日に銀行を子会社とする持株会社を設立

設立後の名称：株式会社京都フィナンシャルグループ

https://www.fsa.go.jp/news/r5/ginkou/202309011/230911-1.html

株式会社関西みらい銀行、株式会社みなと銀行

（内容）2024 年４月１日に株式会社関西みらいフィナンシャルグループ（※）と株式会社りそなホールディングスが合併

合併後の名称：株式会社りそなホールディングス

https://www.fsa.go.jp/news/r5/ginkou/20240308/20240308.html

※　株式会社関西みらい銀行と株式会社みなと銀行は株式会社関西みらいフィナンシャルグループの子会社であったが、合併により、現在はりそなホールディングスの子会社となっている。

４．外国銀行の参入

2023 年７月以降、新たに銀行業の免許を付与した外国銀行はない（2024 年６月末現在、免許を付与されている外国銀行支店は 54 行）。

５．外国銀行の退出

2023 年７月以降、以下のとおり外国銀行支店において銀行業の廃止及び事業の全部譲渡があった。

銀行名	廃止等年月日
ゴールドマン・サックス・バンク USA 東京支店	2024 年４月 15 日
クレディ・スイス銀行東京支店	2024 年５月 31 日 （ユービーエス・エイ・ジー（銀行）東京支店へ事業全部譲渡）

Ⅱ　不良債権処理等の状況等（資料１、２参照）

資料１

金融庁
Financial Services Agency

令和６年３月 29 日
金融庁

令和５年３月期における金融再生法開示債権の状況等（ポイント）

１．金融再生法開示債権の状況

令和５年３月期の全国銀行の金融再生法開示債権残高は 8.8 兆円であり、令和４年３月期の 8.9 兆円と比べ 0.1 兆円の減少となっています。

（参考）令和５年３月期における金融再生法開示債権の増減要因（単位：兆円）

金融再生法開示債権		▲0.1
うち 要管理債権		＋0.1
［増加要因］	債務者の業況悪化等に伴う新規発生	＋0.7
	危険債権以下からの上方遷移	＋0.1
	（債務者の業況改善＋0.1　再建計画の策定等＋0.0）	
	（増加要因計	＋0.8）
［減少要因］	正常債権化	▲0.5
	（債務者の業況改善▲0.4　再建計画の策定等▲0.1）	
	危険債権以下への下方遷移	▲0.3
	返済等（*）	＋0.0
	（減少要因計	▲0.7）
うち 危険債権以下		▲0.2
［増加要因］	債務者の業況悪化等に伴う新規発生	＋1.5
	要管理債権からの下方遷移	＋0.3
	（増加要因計	＋1.7）
［減少要因］	オフバランス化等（*）	▲2.0
	（債権流動化等▲1.6、正常債権化及び要管理債権への上方遷移▲0.4）	
	（減少要因計	▲2.0）

＊「返済等」「オフバランス化等」には、統計上生じる誤差脱漏が含まれます。

（注１）銀行に対するアンケート調査により把握したものです。

２．個別貸倒引当金の状況

令和５年３月期の全国銀行の個別貸倒引当金残高は 2.1 兆円であり、令和４年３月期の 2.4 兆円と比べ 0.4 兆円の減少となっています。

３．不良債権処分損の状況

令和５年３月期の全国銀行の不良債権処分損（不良債権の処理に伴う損失）は 0.5 兆円であり、令和 4 年 3 月期の 1.2 兆円と比べ、0.7」兆円の減少となっています。

（注２）計数は全て、百億円単位を四捨五入して記載しています。

資料２

金融庁
Financial Services Agency

令和５年９月期における金融再生法開示債権の状況等（ポイント）

〇金融再生法開示債権の状況

令和５年９月期の全国銀行の金融再生法開示債権残高は 8.8 兆円であり、令和５年３月期の 8.8 兆円に比べ 130 億円の減少となっています。

令和５年９月期 金融再生法開示債権残高	8.8 兆円	（前期比▲0.0 兆円）
うち要管理債権	2.2 兆円	（　同　＋0.1 兆円）
うち危険債権	5.3 兆円	（　同　▲0.2 兆円）
うち破産更生等債権	1.2 兆円	（　同　＋0.0 兆円）

（注）計数は全て、百億円単位を四捨五入して記載しています。